平成２０年度　広島市立伴小学校「総合的な学習の時間」全体計画

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
県市重点施策

時代や社会の要請
・国際化、情報化、高齢化、少子化する社会
　いじめや不登校の問題
　環境問題、社会全体のモラル低下の問題などへの対応
家庭、地域社会の変化
・過保護・過干渉の家庭放任の家庭の増加の問題などへの対応

学校教育目標

よく考える子　思いやりのある子　力を合わせる子
やりぬく子　たくましい子の育成

希求する子ども像

○　よく考える子　（探求心旺盛な子）
○　思いやりのある子　（情操豊かな子）
○　力を合わせる子　（社会性を備えた子）
○　やりぬく子　（実践力のある子））
○　たくましい子　（心身ともに健康な子）

研究主題

人とのかかわりを大切にしながら、自分で考え活動する子どもを育てる

児童の実態
・素直で明るい児童が多い
・言われたことはやるが、自分からはできにくいし依存心が強い子が多い
・人との関わりがうすく思いやりに欠ける子もいる
・基本的生活習慣が十分でない子もいる

保護者の願い
・健康で明るく素直な子
・思いやりがあり、人に親切な子
・挨拶のできる明るい子
・責任感が強く、頑張りぬく子

各教科・道徳・特別活動との連携

知の総合化

総合的な学習の時間（目標）

・自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。
・学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること。
・各教科、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにすること。

中学年の目標	高学年の目標
・身近なものや地域などから自分たちのテーマを持ち、友だちや地域の人達などと関わったり、共に活動したり、お互いの考えや気持ちを伝え合う活動をしたりすることを通して、問題を解決し、地域の自然・文化・人々の素晴らしさに気づき、それらを大切にしようとする子どもを育てる。	・身近なものや地域・社会などから自分たちのテーマや社会のニーズに合ったテーマを持ち、友だちや地域の人達、その他の人達と関わり、協力して活動したり、お互いの考えや気持ちを伝え合い分かり合う活動をしたりすることを通して、問題を解決し、地域の自然・文化・人々や社会の素晴らしさに気づき、社会の一員としてそれらを大切にしようとする子どもを育てる。

（育てたい力）
○主体的に学ぶ力
　「なぜだろう」「調べてみよう」など、事象に対して好奇心や関心を持ち学ぼうとする力
○　考える力
　「どうしたらうまくできるだろう」「どこを直せばいいんだろう」など、問題解決へむけての見通しを立てることのできる考える力
○　コミュニケーションする力
　自分の考えを広めたり深めたりするための「聞くこと」「話すこと」のできる力
○　活用する力
　様々な情報や身に付けた技能を目的に応じて活用する力

地域を生かした学習

・生活、文化、産業、歴史、自然
・地域人材との交流

国際理解に関する学習

・外国の文化に触れる
・英語活動

活用

情　報　教　育

学習活動の配慮事項

体験的な学習
（社会体験）
・自然体験
・ボランティア
・見学、調査
・観察、実験
・発表、討論
・ものづくり、生産活動

問題解決的な学習
・課題の発見
・情報の収集
・自分なりの解決
　・まとめる

指導体制の工夫
・グループ学習
・異年齢集団

学習環境の充実
・図書館教育
・コンピュータ教室
・実践の整理
　展示

（評　価）
○　学習への関心・意欲・態度　：　学習課題について関心を持ち、意欲的に取り組んだか。
○　問題発見・解決能力　：　自分で課題を見つけ、よりよく問題を解決することができたか。
○　コミュニケーション能力　：　活動の中で適切に相手に関わり、考えを伝えたり、聞いたりできたか。
○　表現・情報活用能力　：　書籍、インターネット、聞き取り調査などで情報を集め、活用し、課題解決に役立てることができ、調べたことを自分なりにまとめ方を工夫して発表できたか。